

募集班長の模型部屋(第31回)

皆さんこんにちは。今年は暖冬で雪の降り始めが遅くて助かります。スキーを楽しむ方には恨めしい天候でしょうが・・・私はスキーがあまり得意ではないので、あまり雪は好きではありません。

さて、この「募集班長の模型部屋」ですが、皆様のおかげでアクセス数がぐんと増えました。今は転属されましたが、宮城地本のホームページ担当の「サト吉」さんがツイッターで「何気に上手い・・・」と私のコーナーを紹介して頂いたおかげで爆発的に見てくれる方が増え、また私の非公認ツイッター「募集班長の模型部屋」のフォロワーも1700を超えました。今回は、海上自衛官のサト吉さんに勝手に感謝の気持ちを込めて

戦艦三笠です。



戦艦三笠は、「日本海海戦」で日本海軍連合艦隊旗艦として活躍した海軍マニアならずとも知っている人が多い戦艦です。「皇国ノ興廢、コノ一戦ニアリ。各員一層奮勵努力セヨ」と、総司令官の東郷平八郎が三笠から各艦に打電したこの言葉は有名ですよね。私も部隊勤務の時、いろんな競技会の前にこの言葉で隊員に檄を飛ばしました。(キョトン?としていた若い隊員がほとんどでしたが・・・)

戦艦大和でなく、なぜ三笠?それは私が作った船のキットの中で一番高かったからです。

キットはシールズモデルの1/700で、日本海軍艦船を中心に販売しているメーカーなのですが、お値段が少々高いのです。少ない私の防衛費(笑)からの4000円は重大な影響を及ぼしました。でも、値段は精密度を裏切りません。明治時代の艦船の特徴を良く捉えた素晴らしいキットです。



今まで作ったことのある洋上モデルは船体が一発成型だったのですが、シールズモデルのキットは船体が左右分割式で、そのためか船体側面のモールドがしっかりしている印象を受けます。もっとも最近のキットは立体一発成型ですのでモールドが素晴らしいですね。



キットはストレート組みです。エッチングパーツもあるのかもしれませんが、そんな経済的余裕はありません（笑）

船体は色の指示通りグンゼアクリルカラーの軍艦色を使用しました。その上にフラットブラックでスミ入れし、パステルコンテの茶色で錆を表現。甲板はデッキタンを塗り、木目の表現のため、甲板モールドの一枚一枚にオレンジの色鉛筆で少しづつ色を付着させて木材の色の違いをつけました。写真では少し分かりづらいかも・・・



マスト・・・細くて折れそう。もちろんZ旗を掲げています。艦橋には防弾のためのハンモックが装着されてます。防弾効果あったのかな？と疑問を感じてしまいます。



映画「二百三高地」や「日本海海戦」の三笠の戦闘シーンを彷彿とさせます。「右舷前方、くにおやしすわろー！撃ち方始めえ！」と、ニヤニヤしていると娘が横で「とうちゃん、楽しそうだね・・・」



正面の「菊の御紋章」の形状が少し違うのですが、それ以外のモールドはさすがです。



同スケールの「おおすみ」と並べてみます。圧倒的な「おおすみ」の大きさが分かります。何で「おおすみ」なのか？私の作品の中で自衛艦艇は「おおすみ」だけだからです（笑）ということで引き続き・・・

おおすみも紹介します！



おおすみはタミヤの1/700キットで、海上自衛隊の艦艇で始めて私が作ったものです。その後、同型艦の「しもきた」作成しました。いまや「いずも」や「ひゅうが」と更に大きな護衛艦が出ているので、めっきり注目されなくなりました。とはいえ、北海道での広報イベントで石狩湾で見た「おおすみ」はデケエ！と思いましたね。私には印象深い船です。



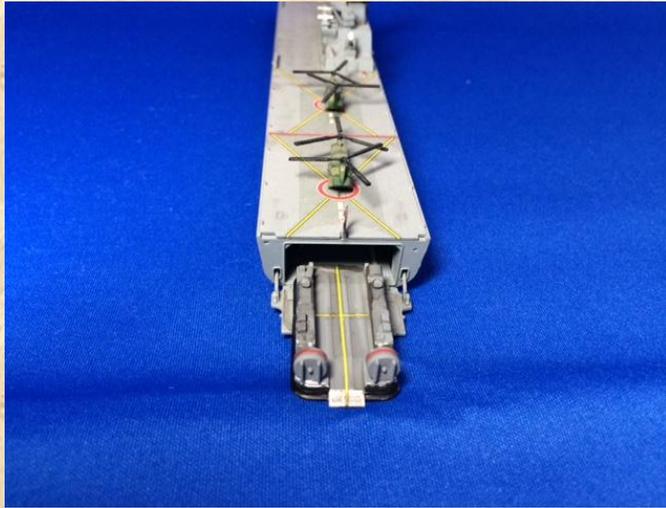
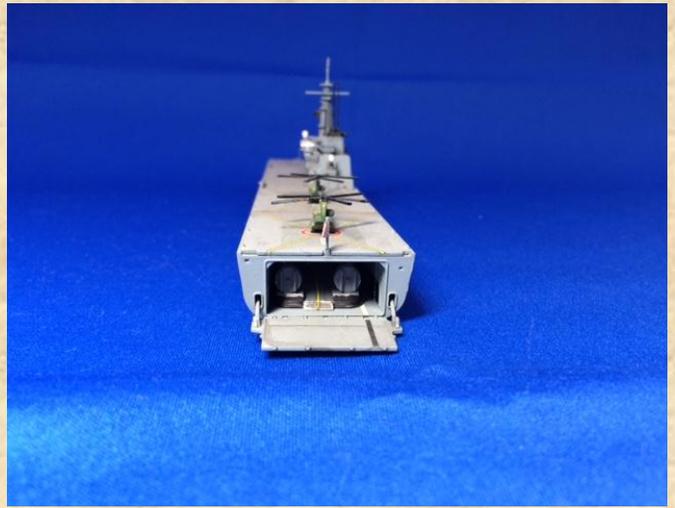
チヌークが離着艦出来る艦艇であること、LCACを使用しての戦車などの重車両を地上陸させる事が出来る能力を持っています。東日本大震災でも港湾に艦艇が着岸できない場所にLCACを使用して救援物資の輸送したりと大活躍でした。また、大型ヘリが離発着出来るという事は災害派遣でとても大きな戦力となります。艦内の風呂も大きいのだそうです。



同スケールのチヌークが小さい！迷彩塗装も簡単です（笑）。艦体も複雑な構造物がないのでパーツが少なくてすぐに出来上がりました。塗装はタミヤカラーの「ヘイズグレイ」で、基本塗装の後にエナメル塗料でスミ入れをしました。戦闘車両のようにやりすぎると汚くなるので程々にしました。



こんな感じで控えめなスミ入れで単調な艦体にアクセントを付けます。



艦体前・後方からの姿とLCCの発艦の様子です。これだけでも結構遊べます（笑）



ツイッターでも私の艦の作例が見てみたいとの要望がありましたので、恥を忍んで紹介させて頂きました。基本ストレート組なのでエッチングはおろか、マストのワイヤー等も省略しています。何かしらの参考になればと思います。いろんな模型を作って楽しみましょうね！

それでは皆さん、また自己満足の世界にお付き合いくださいね！